

墓石地震学による考察

Consideration by Grave seismology

*梶 結翔¹、小林 虹介¹、石田 要¹、鈴木 康浩¹、上原 響一郎¹

*Yuito Kaji¹, Kosuke Kobayashi¹, Kaname Ishida¹, Yasuhiro Suzuki¹, Kyoichiro Uehara¹

1. 長野県屋代高等学校

1. Yashiro High School

墓石地震学とは地震の揺れによって倒壊した墓石の倒壊率・方向のデータから各種の考察を組み立てる学問である。私たちはそれをを用いることで、大地震が起きた地点の地質に迫れるのではないかと考え調査を開始した。具体的には二つの大震災、大阪北部地震と北海道胆振東部地震である。そして、私たちはフィールドワークを通して幾つかの考察に至った。現在の災害に対する扱い方の問題点、地域ごとの被災状況の差と地質の関係性、そして過去の事例・善光寺地震から見る故郷の地の特性。過去から何を学び、現在がどのように、未来にどうしていくべきか。それらを考察したものが私たちの研究『墓石地震学による考察』である。